

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390100440
事業所名	グループホームしもかた翔裕館

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2) 町内会に加入し、回覧板や自治会長から情報を得ているが、今年度はコロナ禍で活動が制限されることが多く、また会社母体の変更や館長、管理者の異動などで、町内の会合や町内の活動に参加できていない。コロナの状況を確認しながら、町内の清掃や防災訓練、夏祭りなどに参加し、地域とのつながりを継続していく予定にしている。また、併設のデイサービスと合同でボランティアを招き大正琴や踊り、歌やゲームなどに参加することを楽しみにしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3) 常時は、入居者家族、自治会長、サンクリニック相談員の参加を得て年6回開催しているが、行政やいきいき支援センターの参加が得られていない。運営状況や活動内容、ヒヤリハットや事故報告及び地域への情報の提供などを議題とし、参加者からの意見や提案等はサービスの向上に活かしている。今年度は、コロナウイルス感染防止のため書面での開催とし、町内の有識者には挨拶を兼ねて議事録を直接持参し、家族には郵送して状況を報告している。行政への報告についてはこれからの課題としている。	評価	×
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4) 行政担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行などで出向いたり、いきいき支援センターとは相談事やサービスの取り組みを伝えたりして情報交換をしながら協力関係を築いているが、運営推進会議への参加はない。市主催の研修はコロナ禍により多くは中止となっているが、コロナの状況を確認して機会があれば参加できるようにしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6) 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、申し送りノートに記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族には電話で入居者の日々の様子を伝えたり要望等を聞いたりして、運営に反映させているが、コロナ禍により家族の面会が難しい状況が続いているため入居者の様子が家族に伝わりにくくなっている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ×
総合評価			×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	×										

【備考欄】

運営推進会議は新型コロナウイルス禍において書面での開催とし、会議録などを通して家族や地域との情報のパイプが途切れないうつめしている。家族や友人の訪問を自粛しているが、警戒宣言解除後は1階フロアでの面会対応としている。家族や友人が手紙を届けに来たりして、関係が途切れないうつめ配慮と支援をしている。食事は、管理栄養士の献立をもとに1階の厨房で委託業者により毎食手作りにしており、季節に応じたおせち料理や土用の鱈、セレクト食の日や、毎月1日のおお飯の日、15日のケーキの日などを組み入れて、食事を楽しく工夫をしている。おやつは職員と一緒にホットケーキやスイーツなど手作りにして食べる楽しみに繋げている。平常時は買い物や散歩など気軽に外に出かけられる環境にあるが、コロナ禍で自粛している。ベランダで日光浴や玄関先の花を見て楽しんだり、野菜の収穫をしたりして外気に触れる機会を大事にしている。併設するデイサービスの行事の参加も自粛しているが、交流を再開する日を楽しみに待っている。